

日台インターアクト交流事業

ガバナー補佐 塚本 慎一郎
(八代南ロータリークラブ)

4月12日、13日の2日間、やつしろインターアクトクラブ（八代南ロータリークラブ提唱）、八代白百合インターアクトクラブ（八代東ロータリークラブ提唱）と RI 3490 地区代表の3名のインターアクターが参加しました。

今回の交流内容は懐良親王墓清掃、職業体験、キャンプやレクリエーション、学習奉仕（地元の小学校への台湾語学習）、スポーツ交流、合同例会など幅広いものでした。企画は全てやつしろインターアクトクラブが行いました。キャンプでは、日本や台湾の地元料理づくりや台湾で流行しているダンスレクリエーションなど大いに盛り上がり、お互いに良い交流になったようです。今回の交流事業についてやつしろインターアクトクラブの塚本真央

会長は「どうしたら良い国際交流ができるかを考えるのは難しかったのですが、皆で話し合い企画しました。受け入れてもらえるか、楽しんでもらえるかは半信半疑で心配でしたが、1日目の終わり頃には日本のインターアクターと台湾のインターアクターが一体となり、昔からの友達のように楽しむことができました。忙しい中、来ていただいた三村ガバナーを始め、ロータリアンの皆様のご協力に感謝しています」と感想を述べました。

熊本市南区城南町のかたるの森キャンプ場様には、今回の交流事業に賛同していただき、運営のサポートや食材、雨対策として宿泊棟の提供などをいただきました。誠にありがとうございました。





が支援する八代インターアクトクラブです。活動が正式に始まる前から、両者はすでに複数回の連絡と綿密な協議を重ね、丁寧で周到的な交流計画を立案し、この活動の協力体制にしっかりとした基礎を築いてきました。

第 3490 地区からは、王韻嫻さん、蔡子蓉さん、頼蓮心さんの 3 名が代表として参加し、1 泊 2 日の深い交流体験をスタートさせました。八代インターアクトクラブからは 23 名の団員が熱意を持っ

